

(4) 多自然居住地域の生活基盤づくり

多自然居住地域の機能や魅力の向上を図るため、単独の行政区域内で整備することに限界がある施設や拠点となる都市の高度医療・高度教育施設の機能も享受できるようにするため、隣接市町村間や拠点都市（人口30万人規模の都市）へのアクセス向上を図る。特に都市的サービスを受けにくい山村地域、離島地域及び半島地域では、定期船の就航率向上や道路、高度情報通信基盤などの整備によって地理的・自然的制約からの感覚距離を縮め、安心して暮らせる生活空間を形成する。

中小都市については、「個性を活かした多様な地域」に向けて、地域の歴史や文化、伝統など培われた個性を活用し中心市街地の魅力を高め、また、海、山、川の豊かな自然を保全・活用しながら個性ある多様な地域を形成することなどにより、ゆとりある癒しの空間の形成を図る。

高齢化・過疎化が急速に進行している多自然居住地域においては、日常的な生活基盤としての社会資本整備等にユニバーサルデザインの導入等を図るとともに医療、教育、福祉など基礎的なサービスを享受するための環境づくりを支援する。

【重点目標】 拠点都市との交通・情報アクセスを充実する。

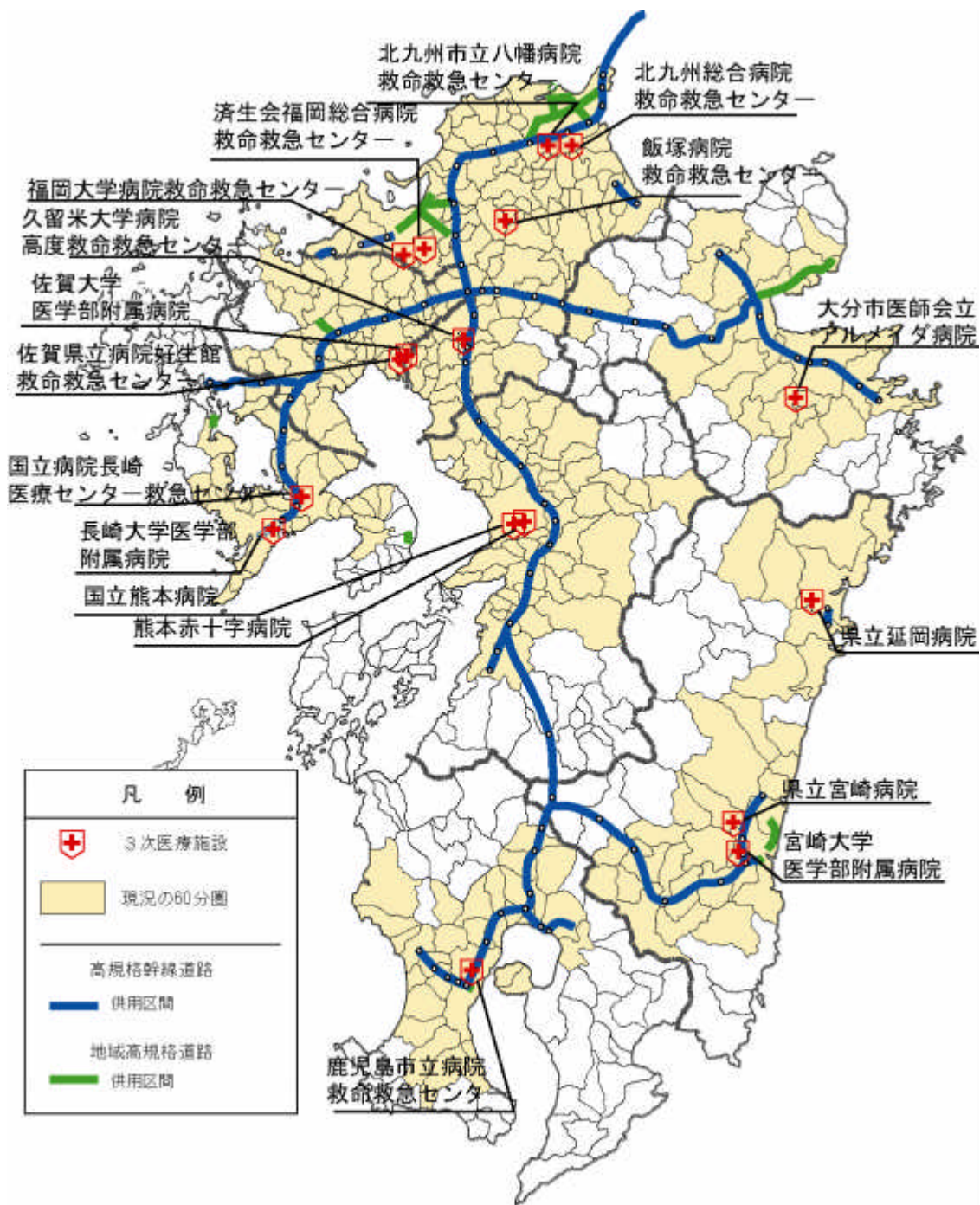
- 1

多自然型居住地域においても高度医療や高度教育施設等の都市的サービスを楽しむよう規格の高い道路ネットワークの整備をすすめ、また、隣接市町村間の相互連携を支援するため幹線道路の整備をすすめる。



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 国道57号中九州横断道路犬飼千歳道路完成イメージ



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 九州における第三次医療施設

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・第3次救急医療施設へアクセス時間が5分以上短縮する市町村の人口	-	約6万人 (34市町村) に効果	-	

【主要施策・主要事業】

高規格幹線道路、地域高規格道路

一般国道・地方道（バイパス、拡幅、離島架橋事業等）

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

道路改築事業：

国道57号中九州横断道路犬飼千歳道路（大分県）【H18年度供用予定】

国道57号中九州横断道路千歳大野道路（大分県）【H19年度供用予定】

国道201号飯塚庄内田川バイパス（福岡県）【H15,H18年度一部供用予定】

国道386号甘木朝倉バイパス（福岡県）【H16年度供用予定】

国道324号松島有明道路・有明道路（熊本県）【H18年度供用予定】

国道219号春田バイパス（宮崎県）【H15年度供用】

（主）熊本高森線 俵山工区（熊本県）【H15年度供用】 等

- 2

離島等多自然居住地域にとって不可欠な生活・産業航路については、船舶の高速化・大型化への対応や就航率の向上等により輸送の安定性・効率性の確保、航空路線については空港の滑走路や航空保安施設の整備によりジェット化、就航率の向上等を図り、地理的・自然的制約からの感覚距離を縮め、安心して暮らせる生活空間を形成する。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 離島ターミナル（西之表港）イメージ

【主要施策・主要事業】

地域交通拠点の整備：西之表港離島ターミナル、比田勝港離島ターミナル、大島港、有川港、中之島港、臼杵港等

空港整備事業：新種子島空港、沖永良部空港

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

地域交通拠点の整備：西之表港離島ターミナル、比田勝港離島ターミナル、臼杵港複合一貫輸送ターミナル等

新種子島空港の整備、沖永良部空港の整備

【重点目標】自然・歴史等を活かしたゆとりのある居住地域を創造する。

- 1

地域の自然や歴史、文化等の積極的な情報発信、地域交流の場として、道の駅や水辺プラザの整備や機能向上をすすめ、個性ある地域づくりを支援する。



資料) 国土交通省九州地方整備局
写真 道の駅「うきは」



資料) 国土交通省九州地方整備局
写真 道の駅「やまくに(イベント風景)」



資料) 国土交通省九州地方整備局
写真 道の駅「豊前おこしかけ」



資料) 国土交通省九州地方整備局
写真 道の駅「南郷」



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 水辺プラザ整備イメージ
(筑後川支川早津江川)



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 リバーツーリズム(緑川 熊本県)

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・道の駅年間利用者数	約2,300万人	約3,800万人	約6,000万人	

将来目標は概ね10～15年後の目標。

【主要施策・主要事業】

道の駅の整備・活用

川の発見・再発見プロジェクト（川の情報室、リバーツーリズム、リバースクール）（全県）

水辺の交流拠点となる水辺プラザの整備（大分県等）

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

筑後川、緑川、肝属川・水辺プラザの整備（大分県、熊本県、鹿児島県）

道の駅の整備・活用：

道の駅 さいかい（長崎県）【H16年度供用予定】

道の駅 たのうら（熊本県）【H15年度供用】

道の駅 子守歌の里五木（熊本県）【H16年度供用予定】

道の駅 宇土マリーナ（仮称）（熊本県）【H17年度供用予定】

道の駅 ゆふいん（大分県）【H15年度供用】

道の駅 たるみず牛根（仮称）（鹿児島県）【H16年度供用予定】

道の駅 指宿（仮称）（鹿児島県）【H16年度供用予定】

- 2

川や海辺を活かした環境学習や体験活動ができる水辺拠点の整備・充実をはかり、潤いのある地域づくりを支援する。



資料） 国土交通省九州地方整備局

写真 水辺の楽校（川内川 宮之城町）



資料） 大分県

写真 海岸環境整備事業により整備された海岸
（大分県 安岐海岸）

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・人々が海辺に親しむことの出来る海岸の延長 1)	約1,190km	約1,220km	-	

1)は、河川局、港湾局、農政部局、水産庁各所管を対象に算出

【主要施策・主要事業】

「子どもの水辺」再発見プロジェクト（全県）
 水辺の楽校プロジェクト（福岡県等）
 海岸環境整備事業

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

水辺の楽校プロジェクト：遠賀川（福岡県） 菊池川（熊本県） 川内川（鹿児島県）
 ふるさと海岸整備事業：別府港海岸（大分県）等（再掲）
 海岸環境整備事業：北九州港海岸（福岡県） 博多港海岸（福岡県） 鐘崎海岸（福岡県） 田結港海岸（長崎県） 高浜港海岸（熊本県） 安岐海岸（大分県） 宮崎港海岸（宮崎県） 等

- 3

歴史的・文化的価値を有する地区等において、歩くことを通じた健康・福祉活動や魅力ある地域づくりを支援するため、歴史・文化施設を連絡する質の高い歩行空間の形成や街並みの保全・再生等をすすめる。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 ウォーキングトレイル整備イメージ



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 歴史的な街並み整備：臼杵市



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 都市公園事業：吉野ヶ里歴史公園

【主要施策・主要事業】

ウォーキングトレイルの整備

くらしのみちゾーンの形成（再掲）

歴史を活かしたまちづくりの推進：

身近なまちづくり支援街路事業、街並み環境整備事業

市街地再開発事業

土地区画整理事業：辻の尾（松浦市） 財光寺南（日向市）
武雄北部（武雄市）等

まちづくり総合支援事業

都市公園事業

みなとまちづくりの推進（油津港：堀川運河）

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

ウォーキングトレイルの整備：

（町）林原中富線（熊本県七城町）【H17年度供用予定】

くらしのみちゾーンの形成（再掲）：

豆田地区（大分県日田市） 温湯地区（大分県湯布院町）

歴史を活かしたまちづくりの推進：

身近なまちづくり支援街路事業：

祇園洲柳原線外1線（臼杵市） 油津地区（日南市）

街並み環境整備事業（島原中心商店街（島原市）等）

市街地再開発事業：今屋敷（巖原市）等

土地区画整理事業：辻の尾（松浦市）等

まちづくり総合支援事業：宮原（小国町）等

都市公園事業：吉野ヶ里歴史公園等

みなとまちづくりの推進（油津港：堀川運河）

【重点目標】 高齢化・過疎化に対応した生活基盤の確保を図る。

- 1

多自然居住地域における医療、教育、福祉など基礎的なサービスを楽しむために都市・自然交流圏の形成に必要な幹線道路の整備をすすめる。また、大型車等がすれ違えない峠道など幅員狭小区間や交通不能区間の解消を図り、地理的・自然的制約からの感覚距離を縮め、安心して暮らせる地域づくりに取り組む。



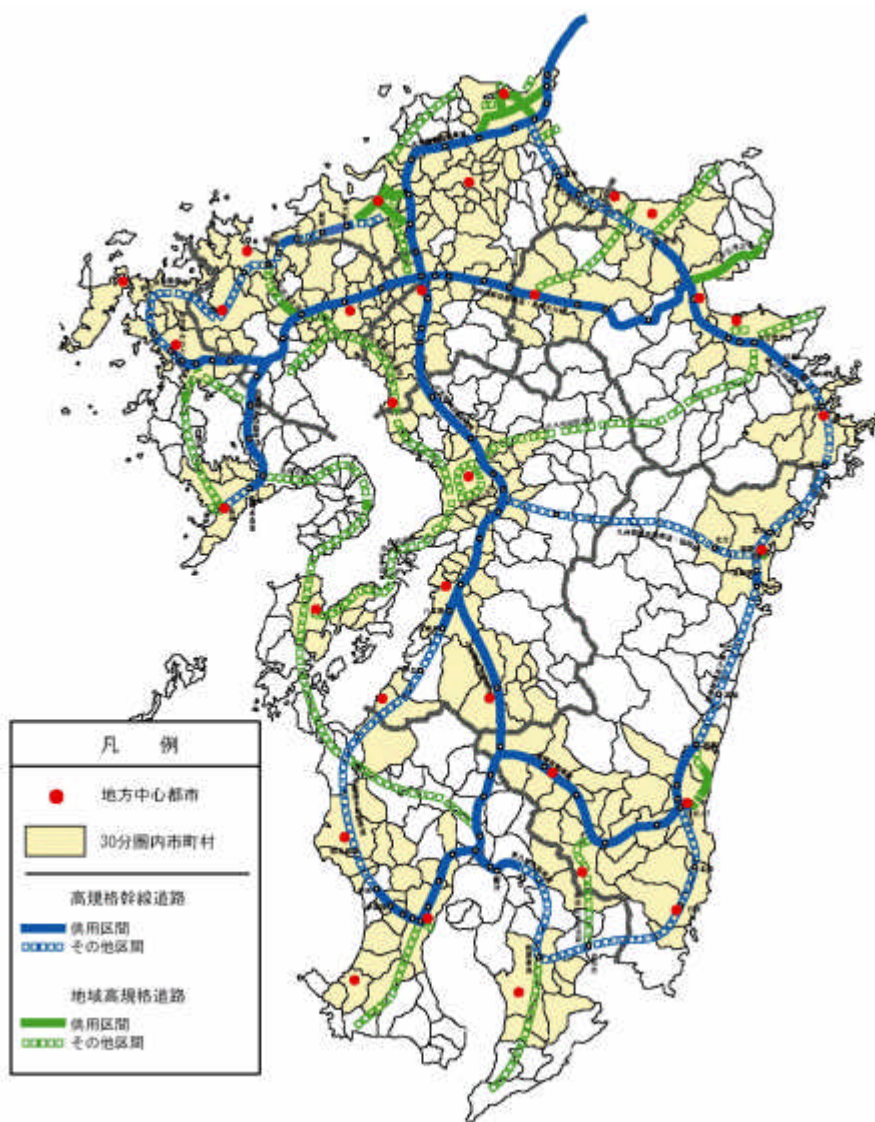
資料) 国土交通省九州地方整備局

図 走行しやすさに着目した道路情報の提供



写真 大型車がすれ違えない峠道
(竹原峠)

資料) 国土交通省九州地方整備局



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 二次生活圏中心都市30分圏域

【指標】		現況	H19目標	将来目標	備考
・第2次救急医療施設へアクセス時間が短縮する市町村の人口	3分以上短縮	-	約15万人 (14市町村) に効果	-	
	1~3分短縮	-	約100万人 (約30市町村) に効果	-	
・二次生活圏中心都市への30分カバー圏		260市町村 - 約57%	265市町村 約7万人拡大 約58%	- - -	
・幹線道路における道路線形不良箇所解消数 (再掲)		-	約500箇所解消	着実に解消	
・下水道処理人口普及率(再掲)		51%(H14末)	58%(H19末)	81%	

将来目標は概ね10~15年後の目標。ただし、備考欄に がある場合は長期的目標

【主要施策・主要事業】

高規格幹線道路、地域高規格道路、一般国道・地方道の整備
 下水道事業の促進：特定環境保全公共下水道事業

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

道路改築事業：

国道220号古江バイパス（鹿児島県）（再掲）【H19年度一部供用予定】

国道442号竹原峠道路（福岡県、大分県）【H17年度供用予定】

国道387号柿ノ木峠道路（大分県）【H15年度一部，H19年度供用予定】等

下水道事業の促進：南小国町特定環境保全公共下水道事業等 8 7 箇所

- 2

高齢者、身体障害者等に配慮した安全で快適な生活を実現するため、道路や港湾等の公共空間及び住宅・建築物のバリアフリー化をすすめる。



資料） 国土交通省九州地方整備局

図 港湾旅客ターミナルのバリアフリー整備イメージ

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・高齢化社会等に対応した利用しやすい港湾旅客ターミナル施設数（再掲）	-	新たに整備する施設数 10箇所	新たに整備する施設数 20箇所	

将来目標は概ね10～15年後の目標。

【主要施策・主要事業】

歩行空間のバリアフリー化

港湾旅客ターミナルの整備：呼子港 等（再掲）

港湾再開発の推進：佐世保港 等（再掲）

離島ターミナル整備：福江港等（再掲）

公営住宅整備事業

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

歩行空間のバリアフリー化（再掲）

呼子港旅客ターミナル 等（再掲）

港湾再開発の推進：佐世保港三浦地区 等（再掲）

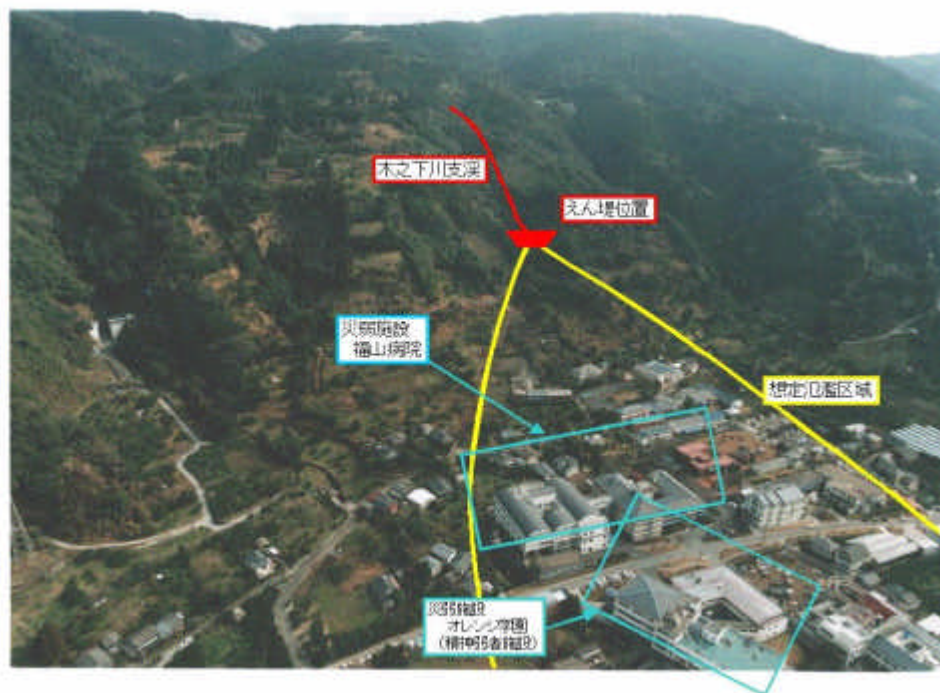
福江港離島ターミナル 等（再掲）

公営住宅整備事業：中の原（東脊振村）等

- 3

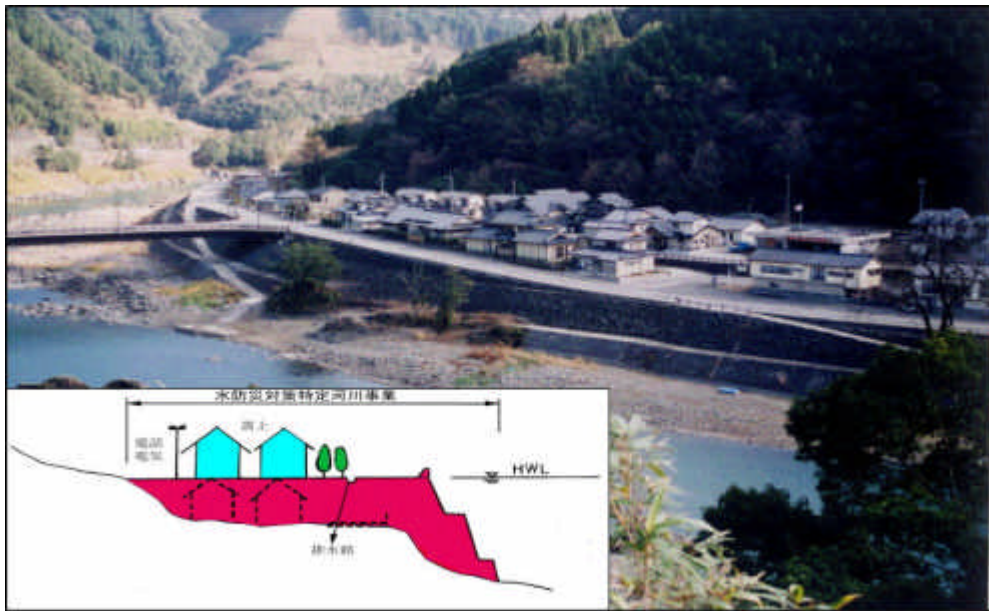
土砂災害等の犠牲になりやすい災害弱者施設を保全するため、土砂災害防止施設の整備をすすめる。

高齢者の多い山間部において、洪水被害を防止するために輪中堤や宅地嵩上げによる河川改修をすすめる。



資料) 鹿児島県

写真 鹿児島県土石流対策事例



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 嵩上げによる改修事例(熊本県 球磨川)

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・土砂災害から保全される戸数(再掲)	約16万戸	約18万戸	約20万戸	
(うち災害弱者関連施設数)(再掲)	約600施設	約800施設	約900施設	

将来目標は概ね10～15年後の目標。

【主要施策・主要事業】

土砂災害対策：雲仙砂防事業(長崎県) 球磨川砂防事業(熊本県) 霧島砂防事業(宮崎県) 桜島砂防事業(鹿児島県)
 輪中堤、宅地嵩上げによる河川改修(水防災対策特定河川事業)(熊本県)

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

土砂災害対策：桜島・引ノ平溪流保全工(鹿児島県)
 緑川・上流地区河川改修(熊本県)
 球磨川・中流一勝地地区河川改修(熊本県)